

ハンツウジャンプ!

スタート集会 10/6 (木)

今年のスタート集会は、訪問看護ステーションえのかわの古本所長を講師に“在宅看護について”の話でした。

訪問看護の内容や料金、色々な器具…例えば酸素吸入器や痰の吸引の器具の説明、そして『人はいつか死ぬのだから自分の最期はどうあってほしいか』など、日ごろから考えたほうが良いという話に納得しかありませんでした。

延命治療が必要か否か、最期は病院か自宅か、途中で考えが変わっても自分は今どうしたいか自分で考えるべき。古本所長のお母さんはしてほしいことをきちんと書いておられたそうです。

最後に月1回、県北事務所で無料健康相談、健康チェックの日を設けているのですが、そこで爪切りなどの相談にもものっていただけるといのはありがたい話でした。



生協強化月間の話題としては、東城支部の池田さんが、『救急車を受け入れてくれる病院が町内に無いことの不便さと、自分たちの健康についての学習会をしたい』『実行委員会を立ち上げて、東城で原爆展をやります』という元気な話で、組合員募集をするにあたって、医療生協の良いところの説明がうまくできないなどの意見がかすんでしまったように感じました。

さあ、みんなでがんばろう!! (K・U)

無料

元気になれるよ! きてみんさい!

正しい呼吸、出来てますか?
みんなで一緒に実践してみましょ♪

今月のテーマ

“呼吸力” ~毎日の呼吸法でからだが変わる!~

日時: 11月21日(月) 11時~12時

場所: 県北事務所 組合員ルーム

ぜひお気軽にご参加ください♪

**えのかわ看護師による
無料相談会、
健康チェック実施♪**

※新型コロナウイルス感染拡大等により中止する場合がございます。



広島医療生協 三次支部

三次市三次町310-4(県北事務所内)

TEL:(0824)65-6056 FAX:(0824)64-8445

えのかわ訪問記

高齢のお父様を自宅でお見送りされたご家族の話です。

本人も介護する娘さんも寡黙な印象のお家でした。

常時尿の管が入っているためか、外出や入浴サービスを嫌がられていました。娘さんがケア終了後、駐車場まで見送りがてら話をされるのが常でした。お父様がデイサービスに行ってくれない事を皮切りに『父の思いがなかなか分からない。しんどい』などこぼされてました。

寡黙な家族同士、声掛けも少なく介護を労う機会も少ないのか在宅でのお見送りは難しいかもしれない、と思いました。

それはそれでよい。でも利発なお二人の気持ちが通わないままのお別れは少し寂しい気がしました。

ある日のこと、庭には大きなざくろの木がありました。少し空を、少し上を見上げていただけたらいいな、と願っていました。青い空と赤いざくろの実。

『このざくろの木はどなたが植えられたのですか?』

『父です』

『そうなんですね。ざくろの実は婦人病にいいと聞いたことがあります。お父さんも何か思って植えられたのでしょうか?』

『父は何も言わないけど、そういう人でした。』

その1か月後、お父様は自宅で亡くなられました。

お父様は穏やかに、娘さんを中心とする家族も清々しい表情でした。

私は文中で“心が通わないまま”と書きました。でも何十年も一緒に暮らした日々そのものが充分心通わされた期間ではなかったのではないかと自分の浅はかな思いを恥じました。

ざくろの実を見るたび、思い出します。(今本)

在宅介護、療養のご相談は、えのかわへ

訪問看護ステーション えのかわ

TEL 0824-64-8444



担い手さん 大募集!!

**あなたも一緒に
県北を盛り上げませんか??**

毎月最終月曜日 9時30分から広島医療生協 県北事務所 組合員ルームで会議をしています。

ぜひ一度、お気軽に見学にきてみてください★

月に1回集まって地域や班のことをわいわい話しましょう♪